2022年3月期　第2四半期決算説明会

2021年10月29日
株式会社エンプラス

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

目次

2022年3月期　経営方針
・企業理念・経営方針
・セグメント変更

2022年3月期　第2四半期　決算説明
・連結損益実績
・決算総括

2022年3月期　連結業績見通し

各事業の動向と事業戦略

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　経営方針

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

企業理念・経営方針

企業理念

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、創造的価値を世界市場に提供します。

経営方針

**持続可能な成長を実現し、
社会的価値の創造に貢献する**

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

当社の取り組み

メガトレンド

地球というエンドユーザーのニーズ

現象	課題
人口爆発	貧困
	水不足
	食料不足
高齢化社会	都市への人口集中
	生産年齢人口減少
	医療費高騰
地球環境問題	温暖化・異常気象
	海洋プラスチック
	感染症

人類の英知の結集

ソリューション

- 健康寿命
- 個別化医療
- 水資源有効活用
- 食の安全
- CASE
- AI・IoT
- 省力化無人化
- 生産性向上
- CO2削減
- リサイクル

豊かで活力ある未来

テクノロジートレンド

コアコンピテンシー

enplas

（エンジニアリングプラスチックの総合技術）

- 流体制御技術
- 光束制御技術
- コンタクトソリューション
- ギヤトレーンソリューション
- グローバル生産体制
- 世界同一品質
- 生分解樹脂等の環境対応ソリューション
- 新材料開発
- 超微細加工技術
- 「創造」と「挑戦」の企業文化

社会課題の解決 ⇒ 使命
経済価値の追求 ⇒ 機会

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

セグメント変更

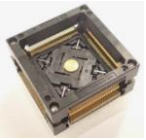
～2021年3月期 プロダクトベース

エンプラ事業

ギヤを中心とした機構部品

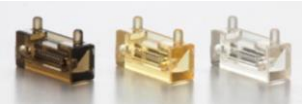
※エンプラ事業の区分は下記の通りです。
・自動車とプリンター用部品 → Energy Saving Solution
・バイオ関連事業と新事業開発 → Life Science

半導体機器事業



テストソケット

オプト事業



光学部品

2022年3月期～ 用途・市場ベース

Energy Saving Solution	モーターアクチュエーター
	流体制御
Life Science	遺伝子検査
	創薬支援
	食品・農業関連
Semiconductor	サーバー・自動運転・ モバイル
	信頼性評価
Digital Communication	通信（5G・6G）
	ディスプレイ

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　第2四半期　決算説明

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　第2四半期損益実績（連結）

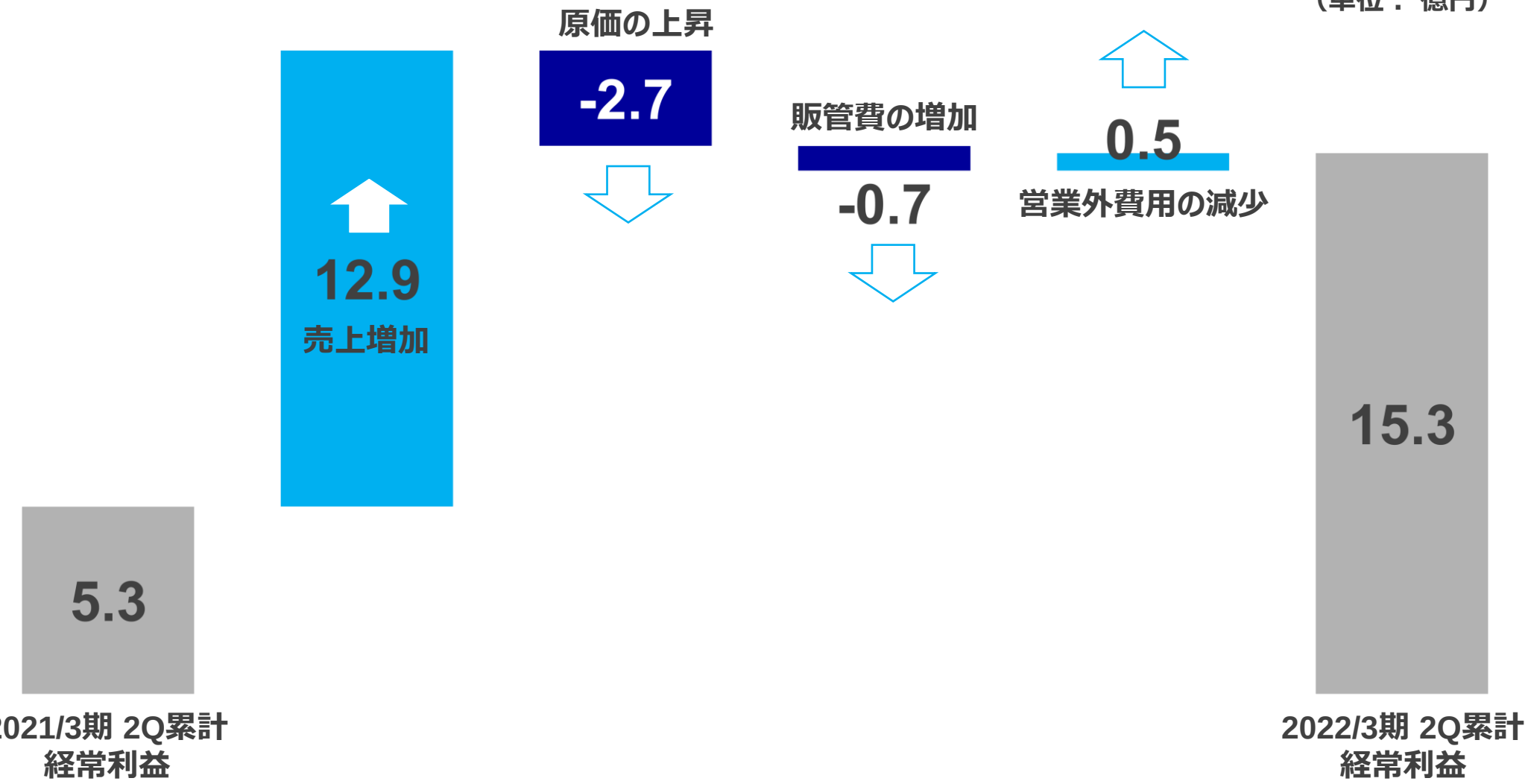
（単位： 億円）

	2020/3期 2Q累計実績	2021/3期 2Q累計実績	2022/3期 2Q累計実績	増減 ※2022/3期と2021/3期の比較
売上高	162.0	140.1	161.1	15.0%
売上原価率	57.1%	60.8%	59.6%	△1.2pt
営業利益	13.6	7.0	16.5	135.1%
経常利益	13.7	5.3	15.3	188.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	14.3	1.2	9.1	601.5%
包括利益	8.1	2.1	10.7	405.0%
1株当たり四半期純利益	114.66円	10.61円	103.44円	92.83円

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経常利益の増減分析＜前2Q累計比＞

（単位： 億円）



Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　第2四半期セグメント別実績（連結）

（単位： 億円）

		2020/3期 2Q累計実績	2021/3期 2Q累計実績	2022/3期 2Q累計実績	増減 ※2022/3期と2021/3期の比較
Energy Saving Solution	売上高	60.1	46.9	55.3	18.1%
	売上原価率	65.1%	73.1%	65.5%	△7.6pt
	営業利益	6.9	0.5	6.5	1124.8%
Semiconductor	売上高	72.4	64.1	73.2	14.2%
	売上原価率	52.8%	55.8%	58.1%	2.3pt
	営業利益	12.1	8.0	9.9	23.9%
Digital Communication	売上高	22.4	20.7	20.4	△1.5%
	売上原価率	44.8%	41.0%	40.6%	△0.4pt
	営業利益	4.9	6.2	6.6	6.0%
Life Science	売上高	6.9	8.2	12.0	45.8%
	売上原価率	73.2%	79.0%	73.7%	△5.3pt
	営業利益	△10.3	△7.8	△6.6	-

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

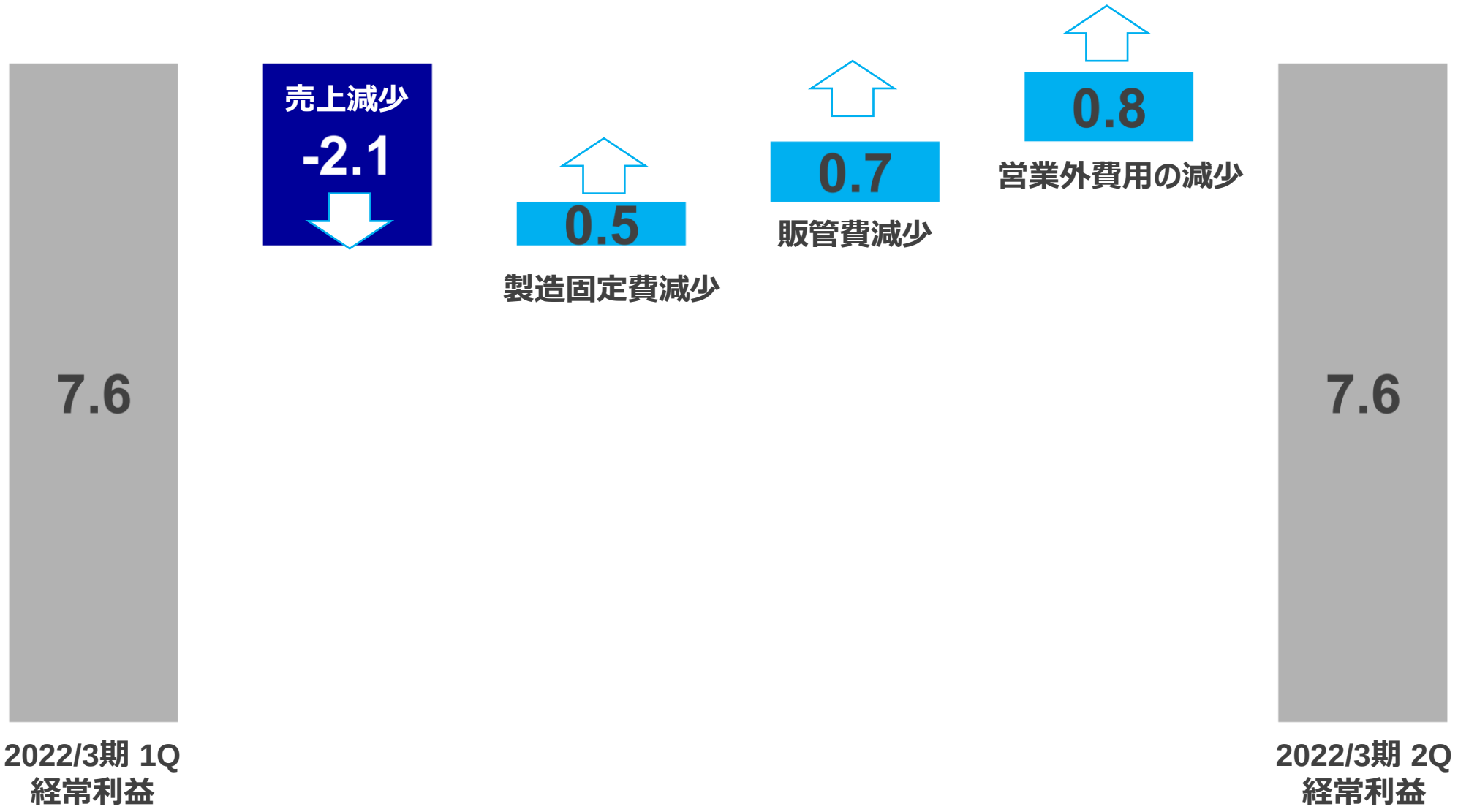
（単位： 億円）

	2021/3期			2022/3期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	70.6	73.2	81.0	82.3	78.8
売上原価率	61.5%	57.9%	59.3%	59.4%	59.7%
営業利益	3.2	6.4	7.6	8.7	7.8
経常利益	2.1	4.8	8.8	7.6	7.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2.2	2.8	4.7	4.5	4.5
1株当たり四半期純利益	18.13円	25.07円	51.15円	51.49円	51.96円

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経常利益の増減分析＜1Q比＞

（単位： 億円）

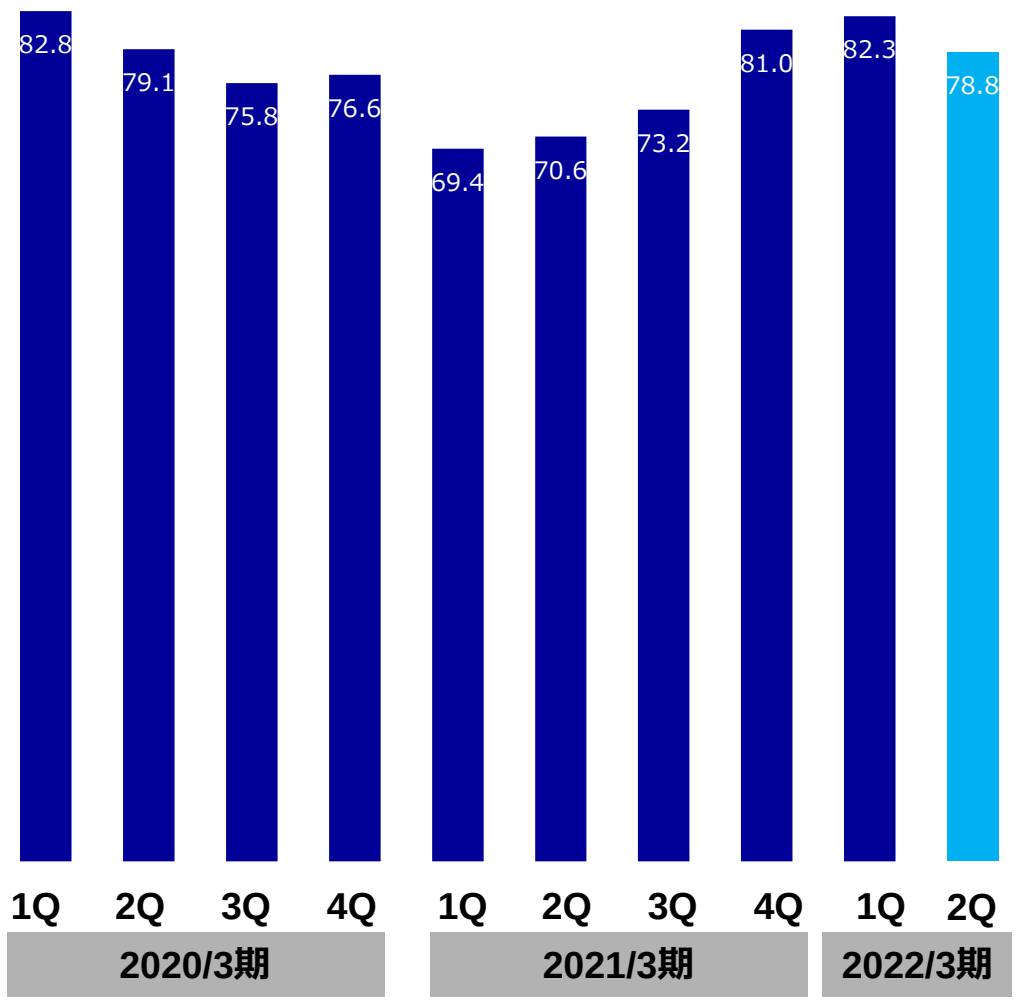


Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

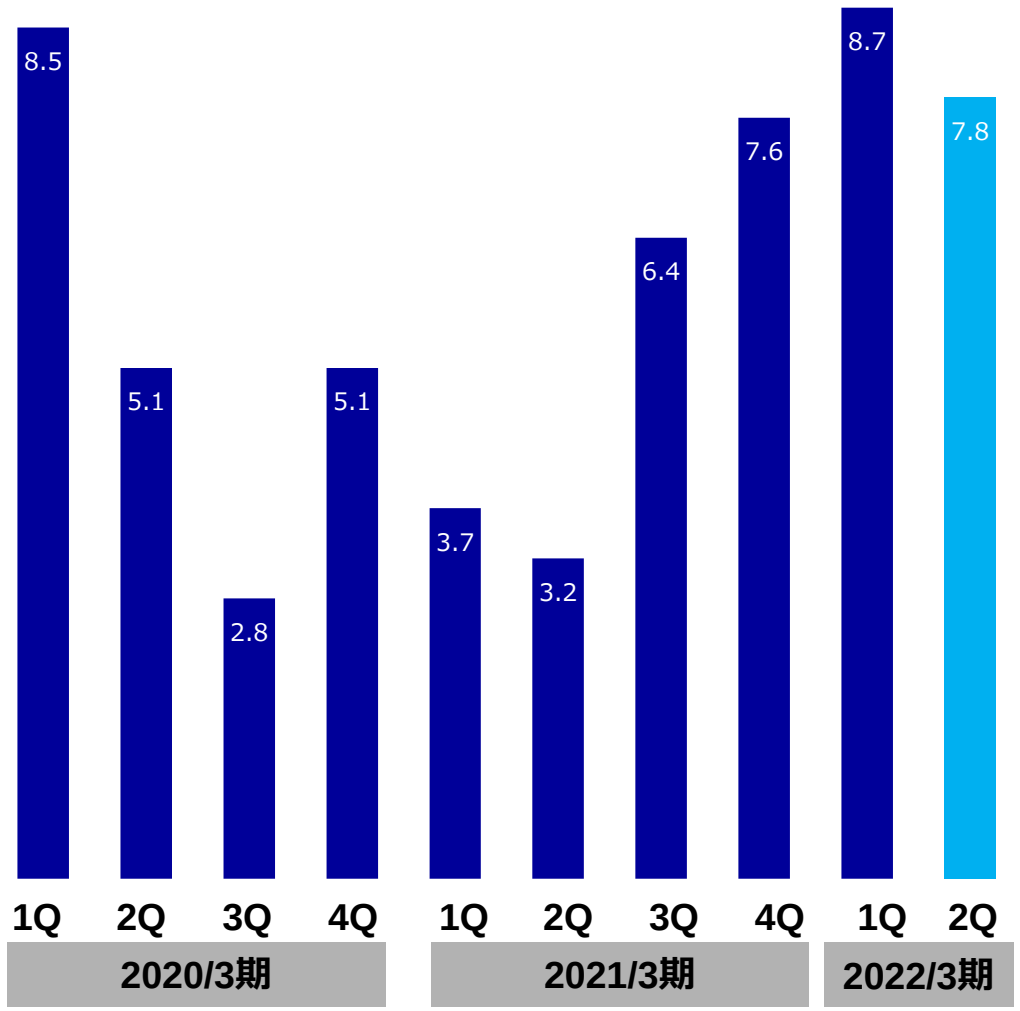
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

セグメント別四半期損益実績推移（連結）

（単位： 億円）

		2021/3期			2022/3期	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Energy Saving Solution	売上高	27.3	27.9	29.8	28.6	26.7
	売上原価率	71.0%	64.6%	63.7%	66.2%	64.6%
	営業利益	1.5	3.2	3.9	3.1	3.4
Semiconductor	売上高	28.3	30.8	34.1	36.5	36.7
	売上原価率	57.9%	56.4%	57.7%	56.9%	59.2%
	営業利益	2.1	3.8	3.9	5.4	4.5
Digital Communication	売上高	10.6	9.3	10.2	11.4	9.0
	売上原価率	40.0%	37.7%	46.1%	40.0%	41.2%
	営業利益	3.2	2.8	2.5	3.9	2.7
Life Science	売上高	4.3	5.1	6.7	5.7	6.2
	売上原価率	77.2%	67.1%	68.9%	80.2%	67.8%
	営業利益	△3.7	△3.3	△2.8	△3.7	△2.9

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括＜前2Q累計比＞

◆ 販売管理費

（単位： 億円）

2021/3期　2Q累計	2022/3期　2Q累計	差　異
47.9	48.6	0.7

- 旅費交通費　0.2億円
- 研究開発費　△1.9億円
- 諸手数料、調査研究費　0.8億円

◆ 営業外損益

（単位： 億円）

2021/3期　2Q累計	2022/3期　2Q累計	差　異
△1.7	△1.2	0.5

- 期末レート　2021/9末　111.95円（2020/9末　105.78円）
- 為替差損　0.1億円（2021/3期　2Q累計　0.9億円）
- 持分法による投資損失　1.9億円（2021/3期　2Q累計　1.6億円）

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　第2四半期　主な実施施策

１．新市場区分について

2021年10月29日開催の取締役会において、新市場区分「プライム市場」を選択し、東京証券取引所に対して申請することを決議いたしました。

２．中間配当および期末配当予想の修正について

中間配当につきましては、1株あたり22.5円（7.5円増配）とすることといたします。また、期末配当予想についても1株あたり22.5円とし、通期で1株あたり45円を予定しております。

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　連結業績見通し

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　連結業績見通し

（単位： 億円）

	2022/3期 2Q累計実績	2022/3期 通期	進捗率
売上高	161.1	325.0	49.6%
売上原価率	59.6%	58.8%	―
営業利益	16.5	32.0	51.6%
経常利益	15.3	30.0	51.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	9.1	21.0	43.3%
1株当たり当期純利益	103.44円	238.90円	43.3%
配当金	22.50円	45.00円	―

※配当金以外は、2021年4月30日の業績見通しから変更しておりません。

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　セグメント別売上見通し

（単位： 億円）

	2022/3期	2022/3期	
	2Q累計実績	7月時点の見通し	10月時点の見通し
Energy Saving Solution	55.3	116.0	110.0
Semiconductor	73.2	140.0	148.0
Digital Communication	20.4	45.0	42.0
Life Science	12.0	24.0	25.0

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2022年3月期　設備投資・減価償却・研究開発費（ご参考）

（単位： 億円）

	2021/3期 通期実績	2022/3期 2Q累計実績	2022/3期 通期
設備投資	22.2	9.7	24.0
減価償却	23.7	11.2	24.0
研究開発	9.9	3.2	8.0

※研究開発費以外は、2021年4月30日の見通しから変更しておりません。

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

各事業の動向と事業戦略

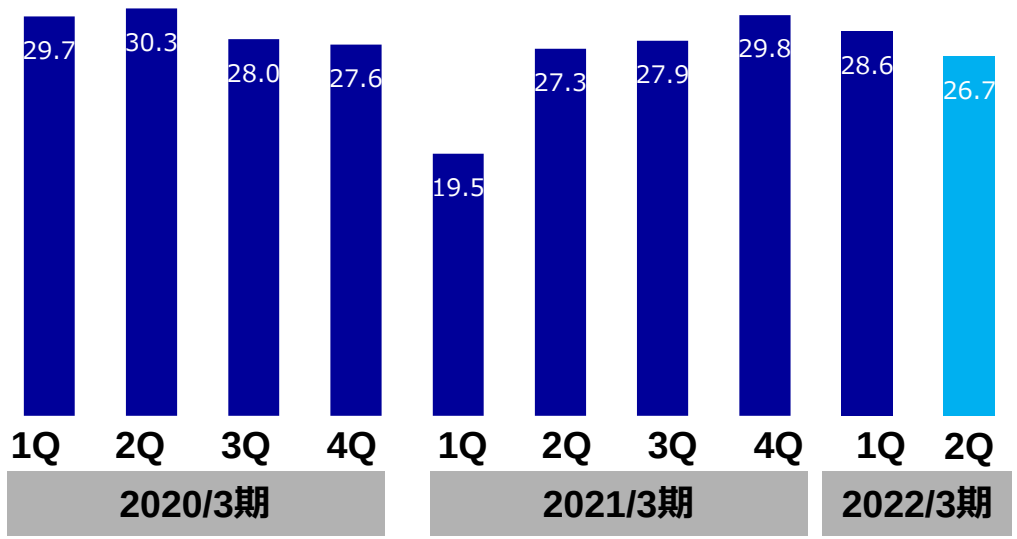
Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Energy Saving Solution事業

環境	■ 自動車市場は経済活動の再開やEV化への流れが加速し、需要は拡大傾向 ■ 半導体不足や東南アジアでの新型コロナの感染拡大による顧客の生産調整の影響で販売減少 ■ OA関連はオフィス需要の回復が鈍いものの、テレワークの普及により家庭向けが増加
事業戦略	■ EV化でさらに求められる静音性、効率性向上へのソリューションの提供 ■ 既存領域は生産性向上による収益性改善

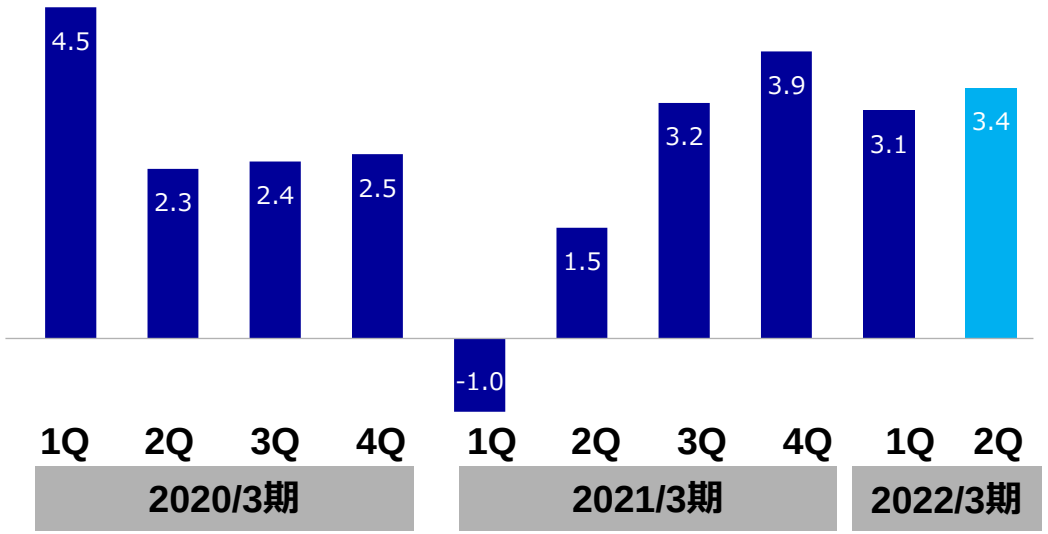
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



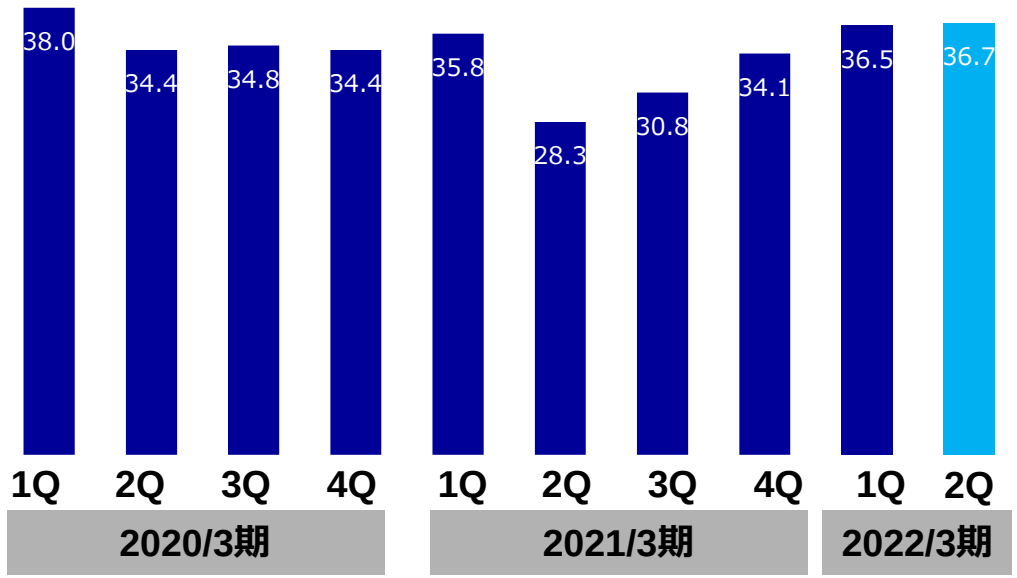
Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Semiconductor事業

環境	■ 自動車用途、次世代高速通信普及に伴うサーバーやモバイル用途、パソコン用途など、多くの分野で需要が増加 ■ 世界的な半導体の逼迫は引き続き予断を許さない状況が続く
事業戦略	■ 成長セグメントにおける事業拡大 ■ 新ソリューション開発の推進 ■ 生産体制の強化継続

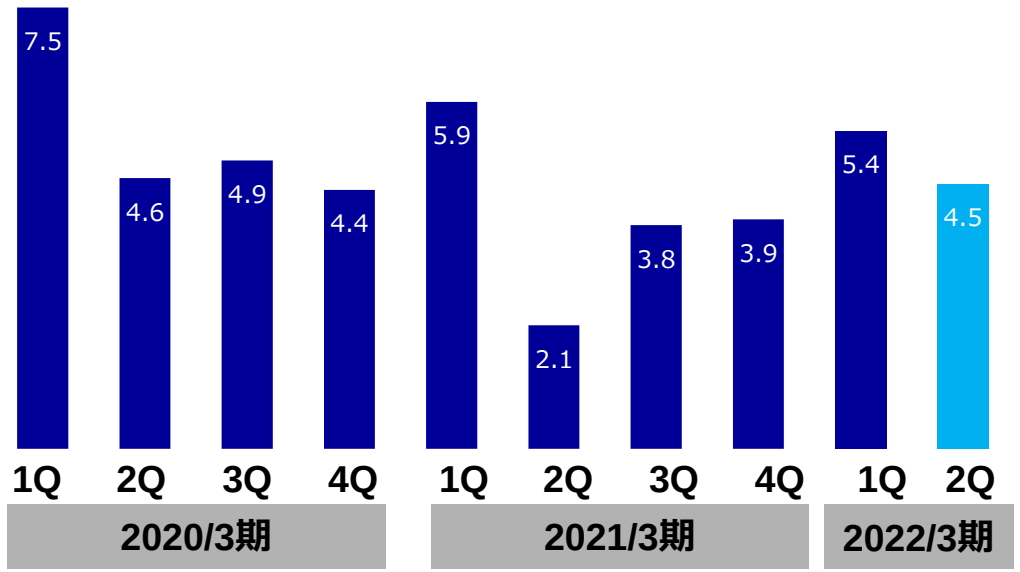
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



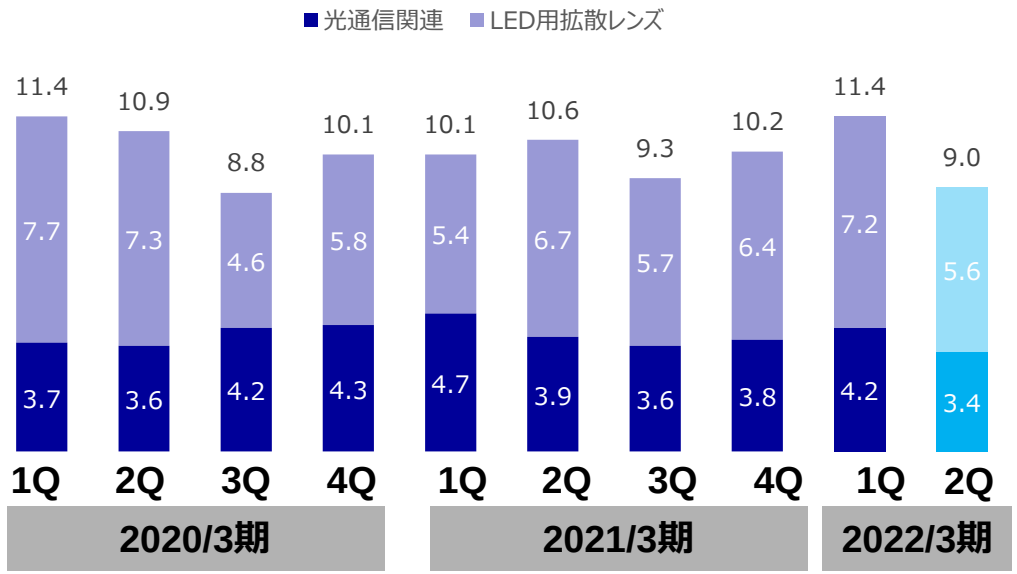
Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Digital Communication事業

環境	■ 光通信関連は、データトラフィック量の増加に伴い、データセンター需要は拡大基調であるが、半導体不足による顧客の生産調整の影響で販売減少 ■ テレビ市場は巣ごもり需要の一巡、東南アジアでのサプライチェーンの混乱やロックダウンの影響による市況悪化の影響で減少
事業戦略	■ 光通信関連はハイエンド領域での新製品拡大とデータセンター以外への事業領域拡大 ■ LED用拡散レンズは市場の変化に即応したソリューションの開発

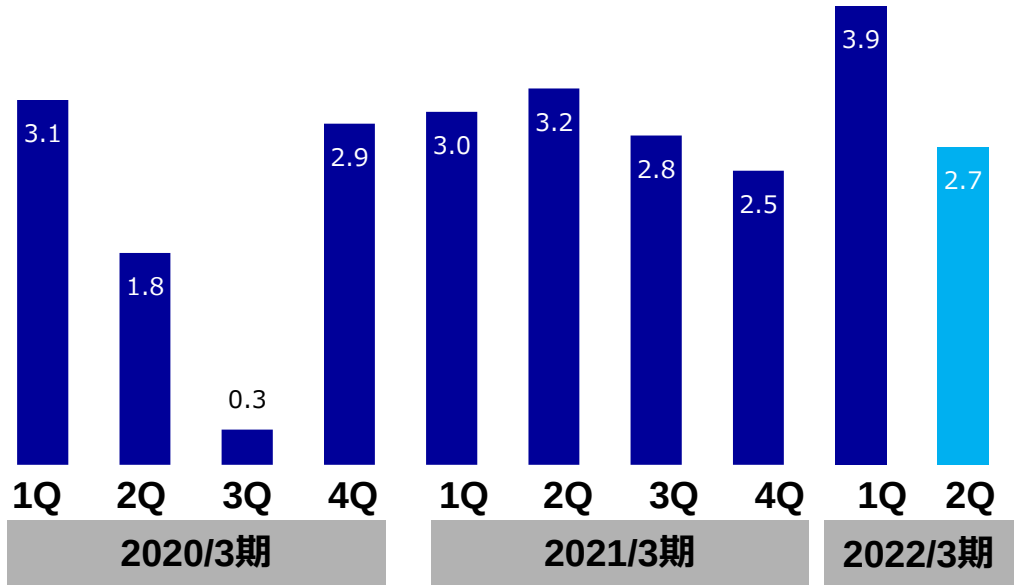
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



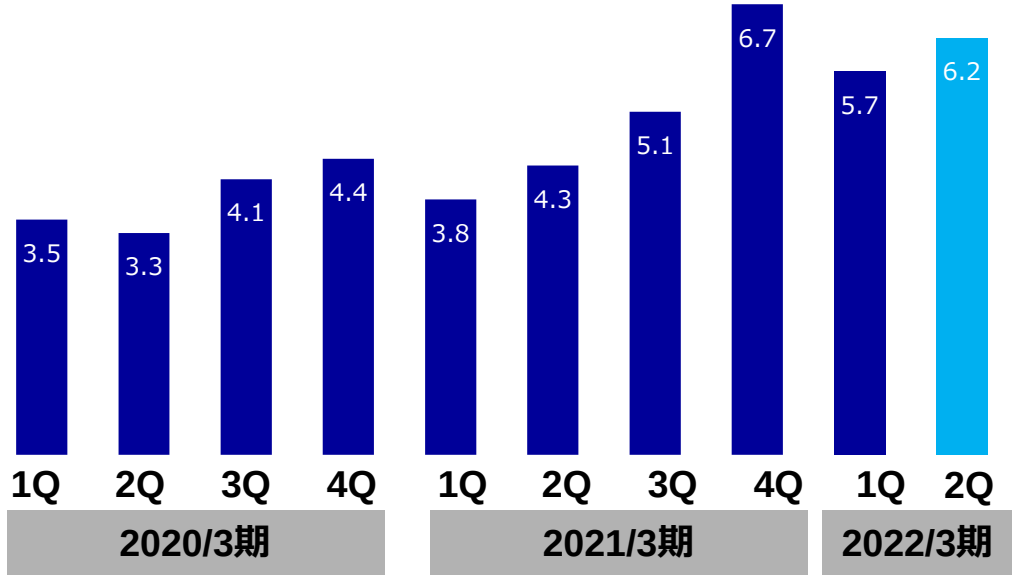
Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Life Science事業

環境	■ 人々の健康意識の高まりによる遺伝子検査市場の成長期待 ■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨床現場即時検査やホームユースの臨床検査デバイスなどの需要の高まり
事業戦略	■ M&Aによる事業領域拡大から選択と集中を行い、持続可能な成長に向け「刈り取り」のステージへ ■ グローバルな顧客ネットワークに、各拠点（北米・欧州・日本）の技術、サービスのリソースを統合したソシューションを提供 ■ エンプラスグループの経営資源を統合した新たなデバイスビジネスの創造

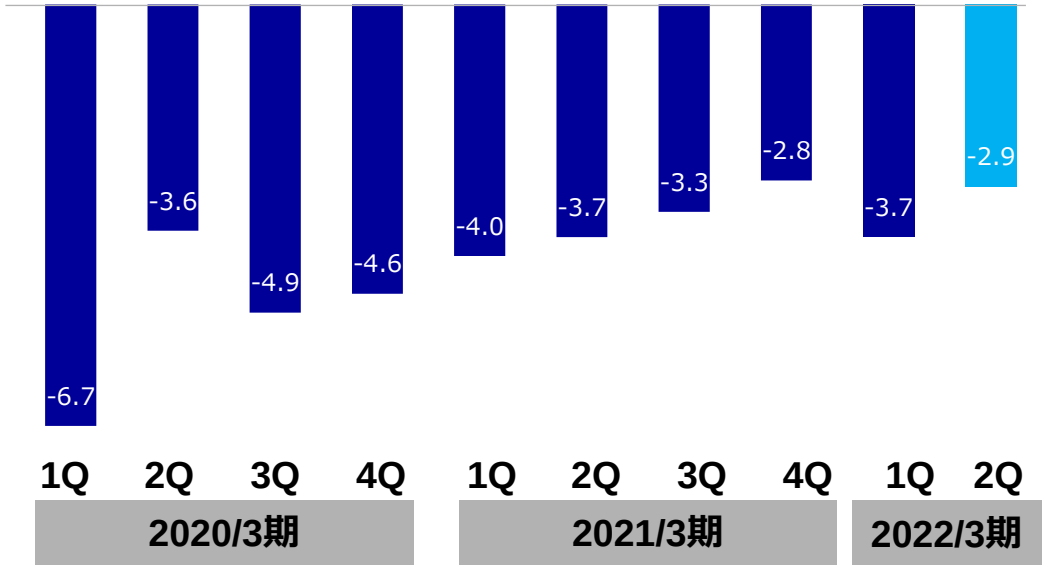
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

株式会社エンプラス

決算説明会

https://www.enplas.co.jp/

(東証１部　6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved